

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

変化対応の考え方はどこから生まれたか 鈴木 敏文 (セブン&アイ・ホールディングス名誉顧問)

1. コンビニは時代の変化に対応できたから成長したのですね。
鈴木：そうです。でも、これからの時代の変化に対応できないと駄目になりますよ。みんな言うんですよ。「コンビニの時代は終わった」とか。そうじゃないんです。時代の変化に対応すればいいだけ。業態の問題じゃないのです。
2. 「変化対応」の考え方はどこから生まれたのですか。
鈴木：それは、歴史を見れば分かるでしょう。昔から世の中は常に変わっている。従って、従来の延長線上のままでいては駄目なんです。よく、過去の現象を引き延ばして物事を考えますが、僕はそれでは駄目だと言っている。セブンイレブンの立ち上げのときに言ったことは「絶対にイトーヨーカ堂のまねをしてはいけない」と。私の哲学というか、常に頭にあるのは、あらゆるものに寿命があるということ。チェーンストア理論も駄目になるでしょう。
3. 商品作りまで手掛けることが重要だということですね。
鈴木：今、百貨店やスーパーが苦しいのは、どこも同じ商品売っているからです。なぜなら、問屋が同じだから。では、今成長している企業はどこか。衣料品はユニクロ、家具はニトリ。全部、自主マーチャンダイジング (MD) をやっています。だから人任せにしては駄目。新しい業態や、新しい消費を作り続けたいといけない。

(参考：「週刊ダイヤモンド」2016年7月16日号)

経営者のための危機管理

技術の目利きが必要

古森 重隆

(富士フィルムホールディングス会長・CEO)

1. どんな企業にも本業がある。だが、昨今それが、永久不滅とは言えなくなった。米国では、一つの技術の役割が終われば、その会社の寿命は終わり、新しい技術を持つ会社にとって代わればいいとの考えが一般的だ。私はそうは思わない。企業には研究開発・生産・営業・業務スタッフという優れた人材がいる。この人材が、他の経営資源と相まって商品を作り出す。
2. 人や組織、技術、企業文化などの優れた資産を生かせば、新しい価値を見つけることができる。優れた経営判断には、技術の目利きが必要だ。必ずしも技術への造詣が深くない事務系出身の経営者でも問題ない。世の中で何が問題で、その技術を使ってどのような解決法を示すのか、そんな理屈を見通せるかどうかがかぎになる。

(参考：「日経ビジネス」：2016年8月15日号)

人事・労務について

メーカー技術者を大量採用 (西松屋)

1. ベビー・子ども用品専門店の西松屋チェーンは、家電、半導体、電極メーカーなどからどんどん技術者を採用している。これまでPB商品は、20年以上前から手掛けていたが、ベンダーや問屋にかなり依存していた。だが、他店と差別化するためには、もっとお客さんの立場に寄った本格的なPB開発が必要だ。当社がイニシアティブを取り、企画から生産、品質、数量管理まできちんとできる体制にする。
2. メーカー出身者が造ってきたのはハイテク商品が多く、社内で分業体制を取っている。一方、当社はローテク商品で部品も素材の数も少ないため、開発、工場生産、検査、物流、店舗の在庫管理など川上から店頭まで全部を自分の権限でやれる。売り上げ結果もPOS (販売時点情報管理) データですぐわかるため、納得してくれる。そうした意味でメーカー時代とは違うやりがいを出してもらっている。

(参考：「週刊東洋経済」2016年7月23日号)

古典に学ぶ

いぬじに

犬死の意味

(解説) ありとあらゆる危険をおかす、自分の命を危うくする、死の両あごの中へ飛びこむ。こういったことが勇気と同じとされることがあまりにも多い。そして、武人という職業では、こういう無分別な行動一、シェクスピアのいわゆる「生まれ卑しい勇気」が不当にも賞賛される。しかし、武士道の教えにあってはそうではない。死ぬだけの値打ちがない理由で死ぬのは「犬死」と呼ばれた。

(参考：佐藤全弘 (訳) 新渡戸稲造著「武士道」：教文館)